

NPO 法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

《ささえあい》

8 月号

事務所 〒666-0015 川西市小花 2 丁目 25-1

TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com

HP [ナルク宝塚・川西] 検索

会員数 7 月 29 日現在

145 世帯・会 員 205 名・賛助会員 13 名



残暑お見舞い申し上げます

猛暑の中、コロナ禍が第 7 波として執拗に増長しています。高齢者のワクチンは 4 回目の接種を進められています。これで絶対大丈夫になればよろしいが、接種後罹患している人が多いようです。早晩、完全な治療薬やワクチンが開発されて安心して生活が出来るようになることを期待している残暑です。



【ご挨拶】

「運営委員受任に当って」

中尾俊充（宝塚）

この度拠点の運営委員に加えていただきました中尾俊充と申します。

私は、拠点設立の功労者であられた種子島様の奥様の町子様と妻とのご縁により、NALC 活動に参加させていただきました。

微力ながら、拠点活動のお役にたてるよう尽力致す所存ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

私は、現在北雲雀きずきの森で、整備活動をしております。

きずきの森は春には、山桜、霞桜、うわみず桜、大島桜、江戸彼岸、枝垂桜等の桜が、長期に亘って咲き誇ります。また、かぶと虫、くわがた、材木等昆虫類を始め、両生類、鳥類等、非常に多くの生き物が生息しています。皆さんも是非きずきの森へお越し下さい。

なお、私が現在注力しているのが、北欧発祥のモルックの普及です。

モルックは、野外で行うボーリングのような、老若男女問わず楽しめるスポーツです。

体力は余り必要なく、戦略性もあるスポーツなので、子供会や、老人クラブ等に広めたく、きずきの森の資源を活用して、モルック作りにいそしんでおります

ご興味のある方は、是非ともお問い合わせをお願いします。



【ミニ解説】

「インスタグラムとティックトック」

井上堅也（宝塚）

昨年の 8 月と 9 月に当会報で SNS (エスエヌエス) について、そしてその代表格の Twitter (ツイッター) と Facebook (フェイスブック) についての記事を書きましたが、今回は最近流行の Instagram (インスタグラム) と TikTok (ティックトック) についてネット情報からピックアップしてみました。

Instagram は 2010 年にリリースされたアメリカの Facebook (フェイスブック) が運営するサービスです。写真や動画を友達や家族と共有してコミュニケーションを楽しむツールとして、利用されています。Instagram の流行と同時に、多くのファンを持つ「インスタグラマー」という言葉が生まれ、有名人や芸能人ではない一般のユーザーでも Instagram で大きな影響力をもち、たくさんの「いいね」を集めるユーザーは「人気インスタグラマー」として企業のプロモーション案件を請け負うことも。また、2017 年には「インスタ映え」という言葉がユーキャンの流行語大賞に選ばれ、SNS マーケティングにも大きな変化を与えました。

「インスタ映え」とは「映えるビジュアル投稿」のことで、「かわいい」「かっこいい」「おしゃれ」をいかに表現してより多くの「いいね」を集めるか意識するときを使う言葉です。

ティックトックは 2017 年にリリースされた中国の企業 ByteDance (バイトダンス) が開発運営しているサービスです。15 秒～3 分程度の短い動画を投稿するコミュニケーションツールとして、中高生を中心に圧倒的な人気を誇ります。TikTok はこれまでの SNS とは異なる価値観をもっていて、早回しのようなスピード感がある動画が特徴で、ファッションやグルメのほか、歌やダンスの動画が多く投稿されています。短い時間でいかに面白くするかアイデアをフル活用し、あるあるネタやドッキリなどネタ系の動画も多く飽きさせません。加工フィルター機能や BGM 音源の提供が豊富で、誰でも気軽にユニークな動画をつくれるようになっていて、気に入った投稿を「マネ」して自らも投稿するのが流行です。

これまでの SNS ではオリジナリティが大切にされ、マネ(いわゆるパクリ)は NG とされてきましたが、TikTok では「どれだけ多くの人にマネしてもらえるか」が重要なポイントになっています。

【7 月の入会者】

事務局

※ ありませんでした。

【今後の行事予定】

事務局

| | | | |
|---------------|-----------|-------------|-------------|
| 9 月中旬 | 新入会員研修会 | 10:00～11:30 | 事務所 |
| 10 月 21 日 (金) | ナルクゴルフコンペ | 8:00～ | 能勢 CC (4 組) |
| 10 月中旬 | 会報手配り者懇談会 | 10:00～11:30 | 事務所 |

【時間預託活動と点数】

事務局

| | 仕事 援助 | 家事 援助 | 受託 事業 | 送迎 | 事務所 当番等 | コーディ ネート | 講師 | 活動 合計 | 活動 会員数 |
|---------|----------|----------|----------|----|------------|-------------|----|----------|-----------|
| 7 月 | 73 | 25 | 22 | 0 | 51 | 2 | 2 | 175 | 13 |
| 4～7 月累計 | 255 | 85 | 110 | 5 | 215 | 6 | 14 | 690 | 71 |

【運営委員会議事録】 7 月も ZOOM 併用会議としました

事務局

「6 月活動報告」

- ・ 仕事援助 (庭仕事: 大野) 利用者: A・I・OM・OH・ON・K・SS・S・T・N・F・M の皆さん
提供者: 大野・厚東・鶴崎・中尾・米田の皆さん
- ・ 家事援助
利用者: T さん
提供者: 小幡さん
- ・ 介助・送迎(大野)
利用者: A・K の皆さん
提供者: 小倉・安岡・上西(蓮) の皆さん
- ・ 受託事業: 宝塚ちどり(平塚) 喫茶サービスは 2020 年 3 月以降コロナ禍で休み依然として外部の人の出入りは一切禁止
: うぐいすの森(厚東) 厚東・厚東(恵)・狩野・中尾・小幡・北川・冨田・柳田・木下・田川・米田の皆さん……ご苦労様でした。

「議題」

- 1) 3 年振りの定時総会を振り返って(厚東)……講話の資料が不足していた
弁当に頭髮が混入していて該当者が直接業者に苦

情の電話した

- 2) 2022 年度の体制について(厚東)……現体制で行くが女性の副代表・事務局長・会計大野さんの補佐を早晚探す必要あり 他拠点では代表・副代表など女性が活躍されているので当拠点でも、自薦・他薦が必要
- 3) 今後の行事予定について(厚東)……9 月中旬……会報手配り者懇談会
来年は大野さんの後任が必要(廃車のため)
10 月中旬……新入会員研修会
- 4) 8 月の会報を休刊にしては(中田)……猛暑、コロナ禍で大変ゆえ、運営委員会と同じように休みにしてはとの案に対して、来年以降再検討とする
- 5) 来年の新春懇親会の件(大野・厚東)……1 月 15 日(日)キセラホールを予約済み
- 6) 2022 年度 3 月末の時間預託ポイントについて(厚東・中田)……内容に不明点あり 事務所当番などナルク活動を控除するには無理がある
- 7) 新システム本格稼働と今後について(中田・厚東)……全て、把握するにはまだ暫く時間が掛かる。

【随想】

【13 兆円賠償の不思議(その 1)】

川西の仙人

東京電力福島第一原発事故で東電に巨額の損害を与えたとして、同社の個人株主らが旧経営陣に対し、22 兆円を東電に支払うよう求めた株主代表訴訟で、7 月 13 日東京地方裁判所は、旧経営陣 4 人に計 13 兆 3210 億円の支払いを命じる判決を言い渡しました。

判決は、放射性物質が拡散するような事故が起きると広範な地域に被害を及ぼし、「国の崩壊にもつながりかねない」と指摘。役員には、重大な事態を避けるための対策を指示する義務があるとしています。

さらに、旧役員らが最低限の津波対策も講じず「安全意識や責任感が根本的に欠如していた」と痛烈に批判もしています。

賠償額算出の内訳については

1. 廃炉・汚染水対策の費用……1.6 兆円
2. 被災者への損害賠償費用……7.1 兆円
3. 除染・中間貯蔵対策費用……4.6 兆円

とし、現在はいずれの費用も国が支出しています。

次月は「その 2」を掲載します。

【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

「猪名川町」

鶴崎俊雄(猪名川)

「ふるさと館周辺」

いながわ名所八景に選ばれている、「ふるさと館周辺」です。猪名川町の中心部に位置し、歴史や産業、昔の人々の暮らしぶりを紹介する歴史民俗資料館です。昔の農機具や生活道具の他、木喰仏(兵庫県指定重要文化財「一戎大黒天立像」を展示)や浄瑠璃、高麗青磁などに関する資料が展示されています。猪名川町には国指定重要文化財の肝川戸隠神社をはじめとして、この近くの天澤寺の春日型石造燈籠(県指定)や木喰仏(県指定)などの文化財を展示しています。

敷地内に親水公園があり、猪名川の本流に沿って整備された公園です。この周辺はオオサンショウウオやホタルが生息している清流です。すぐそばに人工水路が設けられ夏休みになると家族連れで水遊びに賑わいます。秋には紅葉、冬の雪景色なども楽しめます。

ここから、徒歩 10 分位の場所に難工事で明治 41 年(1881 年)に完成した、石製のトンネルがあります。暗マンブ(くろまんぶ)と言われ、このトンネルは現在でも通行可能で、石製のトンネルは日本最古とのことです。



川西市のニュータウンけやき坂の中央公園にあります石舞台「おもろ座」は、世界的に知られる彫刻家の流政之さんの作品で、平成 3 年 (1991 年) に完成しています。正方形の御影石を 2 枚 45 度ずらして重ねたユニークな形をしています。

この石舞台を生かしてトップレベルの文化を発信しようと、市民の手によって平成 4 年の秋から^{たきぎのう}薪能「川西おもろ能」が公演されました。以来約 30 年多くの市民のみなさんを魅了してきたのですが……。

2 年前に実行委員会の後継者難と新型コロナ禍が重なり、いったん区切りをつけることになりました。川西市は「市民が中心になり、長く続いてきた文化を残したい」と再開を模索しているようです。

ところで気になるのは薪能とは言うものの薪そのものをそっちのけで、舞台がライトアップされていることです。能の舞台では主人公があゝの世から迷い出てきて恨みつらみを述べるとまたあゝの世へ還って行く「夜の闇」の世界なのです。星あかり、月あかり、そして燃える火のあかりで演じられてこそ霊験の世界ではないだろうか。

そんな薪能が川西市によって再開されたらもう一度行ってみようと思うのですが「暗い所に多くの人が集まるのは危険」という警察や消防の規則からは本当の薪能の再開は無理だろうな。

文芸コーナー



吉田松陰 一日一語

【少挫折を以て】

「楠木正成公の言葉にいう。勝つことも負けることも世の中のならいである。ちよつとした挫折でその志を変えるべきではない」と。

【言葉の由来】

『タンカを切る』

相手のつけ入る隙もあらばこそ、鋭くポンポンとものをいう人には、その歯切れのよい口調に似た爽快さを感じます。漢字では「啖呵」を使っています。もともとは、漢方医学でいう「痰火」のことだったので。これはノドに痰がたまつて熱を持った状態を言います。つまり、そのからまった痰を切つて出せば、不快感は消え気持ちやすつとすることから、「タンカを切る」という言葉が生まれたわけ。最初は胸の中にたまっている不満を、あらがいざらいぶちまける、という意味で使われていたようです。

【俳句】

『大車輪据えて仕上げや夏祭り』

杉木妙子

【短歌】

『初音なりわれに聞けよと山鳩の野太き声の山下りきぬ』

松野綾子

【編集後記】

2 年ぶり、3 年ぶりで各地の行事が再開されましたね。行動制限が出されていないので、8 月は夏休みやお盆で旅行や帰省など賑やかになるでしょう。わが町猪名川町でも最大のイベントである、いながわ祭りが再開されます。活気が戻っていいことです。反面、コロナの第 7 波で感染者が急発生しています。

気の緩みに気を付けコロナ感染を防ぎ、暑い 8 月を乗り切りましょう。

(鶴崎記)